

奄美ふるさと100人応援団 認定式

今年の2015（平成27）年2月認定式
奄美ふるさと100人応援団認定者45名に拡大

2015年2月14日（土）、四ツ谷主婦会館にて認定式と懇親会「奄美の夕べ」が開催されました。会場には奄美出身者をはじめ、奄美ふるさと100人応援団の方々、東京奄美会の役員（名瀬会、笠利会、住用会他約50名以上）の方々が集まり、会場に用意された黒糖焼酎、豚味噌、魚味噌、味噌ピー、島らつきよなどなど島料理を堪能。もちろん歓迎の島唄や踊りで盛り上がり、島さながらの楽しい会が四谷でおこなわれました。

また、1月に行われた東京奄美会の新年総会、新年賀詞交歓会にて「世界自然遺産登録」への寄付を募る活動が行われ、集まった寄付金は東京奄美会・森会長より広域事務組合管理者の朝山市長へと会場にて手渡されました。世界自然遺産への関心の強さを感じました。

この新年総会では、新たに2名の方の認定式も行われました。



2015年2月認定式

奄美ふるさと100人応援団の経緯

正式名称	奄美ふるさと100人応援団認定式
現応援団数	45名
認定数累計	47名 ※故人1, 帰郷1。
平成22年度～23年度	関東・中部・関西・福岡・鹿児島・沖縄の各地区郷友会会合にて担当者より概要説明を行い事業への協力を依頼した。（該当者の推薦等）
平成24年2月18日	関東地区17名認定。東武百貨店での鹿児島物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成24年3月11日	関西地区10名認定。関西奄美会総会時に、関連として認定式を行った。
平成24年7月14日	関東地区10名認定。東武百貨店での奄美物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成24年11月23日	沖縄地区1名認定。沖縄離島フェア開催に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成25年2月1日	福岡地区1名認定。奄美音楽祭 in 福岡開催に併せ、「飲むばい!黒糖焼酎」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成25年3月9日	中部地区2名認定。丸栄百貨店での鹿児島物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成26年10月4日	関西地区3名認定。せんちゅうパルでの奄美物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成26年11月9日	中部地区1名認定。中部奄美会総会時に、関連として認定式を行った。
平成27年2月14日	関東地区2名認定。人形町ぐーんと奄美でのトップセールスに併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。

追悼

—加地隆雄の名は永遠に—



加地隆雄さんから認定式が始まりました（平成24年2月18日）



第1回目の認定式。奄美市調と認定者との記念撮影

横浜ベイスターズ球団社長・奄美ふるさと100人応援団
加地隆雄さんが心室細動で2015年1月13日に74歳で逝去

この方の存在を忘れてはならない。奄美でのベイスターズ人気は彼の尽力なくしては語れません。

加地隆雄（かじ たかお）1940（昭和15）年11月23日、千葉県・富津市生まれ。1960年に定時制高校を卒業後、19歳で電通に入社。当時の人事部長から「学費は出すから大学へ入れ」と言われ、駒澤大学経済学部に入社し、大学に通いつつ横浜支社営業部で勤務し1985年より横浜支社次長になります。

東京本社にて営業局局長や営業統括局主幹を歴任し、1992年のバルセロナオリンピックのパナソニック世界統一キャンペーンなどを手がけます。1996年にTBSテレビ「水戸黄門」などの制作を手がけるC・A・Lの代表取締役に就任。黒澤明監督生誕100年祭実行委員会特別顧問、日本アカデミー賞協会会員なども勤める輝かしい実績を残しました。

2008年にC・A・Lを退社「加地コンサルティング株式会社」を設立。

翌2009年10月、横浜ベイスターズ

球団社長に就任。加地さんが電通横浜支社時代に築いた横浜財界の人脈や、ベイスターズの親会社であるTBSとのパイプ役を期待され就任。横浜スタジアムでの試合ではライトスタンドでファンとの交流を深める姿が見られました。2011年12月、横浜ベイスターズの身売りが決まり、それに伴い、球団代表取締役社長を退任。横浜UENOベイスターズでは非役員の球団会長に就任。

奄美大島で行われるようになったベイスターズの春季キャンプは、奄美市と共に歩んだ加地さんの熱い思いがあったと思えます。横浜×奄美が一層近くなり、外海離島の子供たちの夢に繋がりました。

昨年3月25日。21世紀枠で出場した鹿児島県立大島高等学校が、甲子園で情熱をたぎらせ活躍できた背景には、野球人との交流がその追い風となったように感じています。

山中「加地さんにとって奄美の繋がりで一番の印象は何ですか？ 奄美の何が好きですか？」生前、横浜・関内の小料理屋さ



南海日日新聞社より
認定者の紹介が1面に掲載されました

んで飲みながら伺いました。

加地「奄美流の気さくなもてなし、海の青さ、魚釣りが楽しい。生け簀のように魚が集まってくる。島の人はみな優しいね」と、とても喜んでいらつしやいました。奄美の自然、人との繋がりを心から大切に思っついでいらつしやると感じました。横浜・日本を背景に活躍された加地さんは、奄美を愛していました。2015年お正月すぎ、落ち着いたら連絡をしよう、そろそろ奄美の為にもつと力になつてもらおうと思ひ、加地さんに電話をかけようとした時、訃報が入りました。

横浜繋がり、飲み仲間、偶然にも奄美を応援する仲間という繋がりの共通点、急な訃報を知り本当に残念でなりません。加地隆雄さんの奄美への多大なる功績に深く感謝すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（奄美ふるさと100人応援団 山中順子）